

第2術科学校オープンスクール研修

神奈川地本カレッジ防衛モニター 一色 啓弥

9月10日(土)、海上自衛隊第2術科学校にて開催されたオープンスクールの研修に参加した。第2術科学校は、工作や電機といった艦艇の機関科関係や情報、外国語などの教育訓練を担当する学校である。

当日は、教育課程の内容についての詳しく解説を聞きながら、入校中の隊員が作成した船舶に用いられるネジや金属部品などを見せて頂いた。その他にも講義で用いられる様々な教材を見学したが、特に印象に残ったのは、護衛艦に実際に搭載されているエンジンの見学である。巨大な船を動かす力を生じさせている船の心臓ともいえるエンジンが、どのような構造を持っているのかを知ることができたのは、とても貴重な体験であった。

同オープンスクールでは、術科学校にて毎朝行われている生徒の行進や授業の様子など普段の教育の様子を見ることができ、これまでのカレッジ防衛モニターとしての見学とは一味違った自衛隊員として経験教養を身に付けていくさまを見学することができた。船舶の運用や安全対策など新たな隊員の教育は、自衛隊の運営において最も重要な事柄であると思われる。それに取り組む責任感や意識の高さを、教官の皆様や生徒の方々の姿から感じることができた。

募集対象者獲得に向け、女子大学生の海自横須賀基地研修を支援

神奈川地方協力本部市ケ尾募集案内所(所長 山口2陸佐)は、9月16日(金)、東洋英和女子学院大学(横浜市緑区)の学生ら26名の海上自衛隊横須賀基地における研修支援を行った。

当初、厚生センター談話室で、管理部長及び人事課長より海上自衛隊の組織や横須賀基地についての説明を受けた。参加者達は、職種やワークライフバランスについて興味を持ち、積極的にメモを取るなど真剣に聞き入っていた。その後、港内クルーズにて自衛隊や米軍の艦船を見学し、体験喫食では海上自衛隊名物のカレーライスに舌鼓を打った。参加者からは、「海上自衛官の勤務を垣間見ることができました」「女性が活躍できる自衛隊を進路の一つとして考えてみます」など嬉しい言葉を聞くことができた。

市ケ尾募集案内所は「普段見えにくい、自衛隊を理解できる場を活用して女性の志願者拡大を図り、厳しい募集状況を乗り切っていきたい」としている。



人事課長から説明を受ける参加者



港内クルーズを体験

一般曹候補生受験者を広報官が熱く激励

神奈川地方協力本部市ケ尾募集案内所(所長 山口2陸佐)は、9月17日(土)、一般曹候補生の採用試験会場である、日本大学湘南キャンパス正門前において、試験を受ける受験者を出迎え、激励のエールを贈った。

受験者達は、担当広報官の顔を見ると表情が和らぎ「緊張が取れました。最後まで頑張ってください」「わざわざ来て下さって嬉しいです」と落ち着いた様子で試験会場に向かった。

市ケ尾募集案内所は、「これからも受験者一人一人を大切にし、厳しい募集状況を乗り切っていく」としている。



試験会場で受験者を激励する広報官